

# 資料No.2

江田島市交流定住促進協議会  
令和5年3月27日

## 令和5年度江田島市当初予算について

### 1 概要

昨今の新型コロナウイルス感染症の対策緩和から、人口移動が都市部一極集中する可能性が推測される一方で、現役世代ではテレワークやフルリモートなど働き方が多様化し、住む場所や働く場所に縛られることがなく、転職せずに地方移住を検討、実現しやすい社会に変容していることも事実である。

本市においては、こうした背景から市場に対応した移住促進に取り組む。令和3年度の空き家バンク成約件数及び移住世帯・移住人数が最高値（平成28年度以降）となり、令和4年度も各数値ともに同水準で推移している。その要因の一つである、移住・定住ポータルサイト「hodohodo」の認知度の高まりが挙げられる。この流れをさらに加速するべく、令和4年度はポータルサイトの改修を行い、地域課題や地域貢献に取り組む意欲的な都市部の若手人材の移住・定住の促進に取り組んだ。また、首都圏で開催される移住定住フェアはリアル開催され、移住希望者との縁を作り本市のPRや移住相談を行っている。

令和5年度は、ポータルサイトの新たな動きを見せていくことで、移住希望者により有益な情報を届けられるよう取り組む。また、引き続き、移住交流拠点施設「フウド」を主体に空き家バンク内覧案内、移住相談、移住者・リモートワーカーと地域住民との交流など、幅広く移住・定住を促進する取り組みを行う。

### 2 内容（予算額の（ ）内は前年度当初予算額）

事業名	項目	内 容	予 算 額
交流定住 促進事業	市交流定住促進協議 会補助金	フウド事業を始めとする市交流定住促進協議会事業に関する費用を補助する。	6,834 千円 (6,799 千円)
	ポータルサイト・空 き家バンクVR運 営 費	市内の空き家物件情報をポータルサイトに掲載し、移住希望者へ移住関連情報を総合的に提供する。サイト及びVR運用に係るサーバー管理料。	225 千円 (396 千円)
	移住・定住支援補助 金	定住目的の転入者が、居住用の自宅を新築した場合に費用の一部を補助する。（上限額 300 千円） 市内の民間賃貸住宅に市外から移住の子育て世帯に対し、補助金を交付する。（上限額 120 千円） 移住検討時の片道交通費や宿泊費を補助する。（上限交通費 20 千円，宿泊費 5 千円）	3,740 千円 (3,500 千円)

移住定住フェア出展及び会議等出席のための旅費	首都圏開催の県定住フェア等に参加し、本市のPR及び移住希望者への相談対応等を行うための旅費。移住・定住，空き家活用関連会議出席のための旅費。	446 千円 (392 千円)
------------------------	--	--------------------